



中川防災マップ2019年版



中川地域 まちづくり協議会

- ### この地図の見方
- 一時集合場所からの避難経路
 - 災害時避難所
 - 公園 一時避難場所
 - 公園 指定避難場所以外の公園
 - 水害時避難ビル
 - 地域会館
 - 中川老人憩いの家
 - 中川西会館
 - 防火水槽・プール
 - 消火ホース延長範囲
 - 消火器設置場所
 - 可搬式ポンプ
 - 公衆電話
 - 病院・診療所
 - 薬局・接骨院
 - 「AED」設置場所
 - フオークリフト
 - 資機材・大工道具
 - ジャッキ/コパル
 - シャベル/バジコなど
 - 発電機
 - コンビニ、スーパー
 - 中川小学校集団登校集合場所
- 町会境線
①～⑭ 町会

- ### 中川地域各施設の連絡先
- 中川小学校(本部): 6753-1822
大池中学校: 6752-3451~2
中川老人憩いの家: 6757-4070
中川西会館: 6731-5522
- ### 生野区各施設の連絡先
- 警察: 110
救急・消防: 119
大阪市救急情報サービス: 6543-9999
生野区役所(区災害対策本部): 6715-9390
生野警察署: 6712-1234
生野消防署: 6731-0119
水道局お客様センター: 6458-1132
クリアウォーターOSAKA: 6751-5048
環境局(ゴミ): 6751-5311
関西電力: 0800-777-8022
大阪ガス: 0120-0-19424
NTT: 113

電話が使えないとき...

大規模な災害時には、一般電話や携帯電話の通話が制限されます。NTTの災害用伝言ダイヤルを活用して、家族や友人の安否確認を行います。

災害伝言ダイヤル171

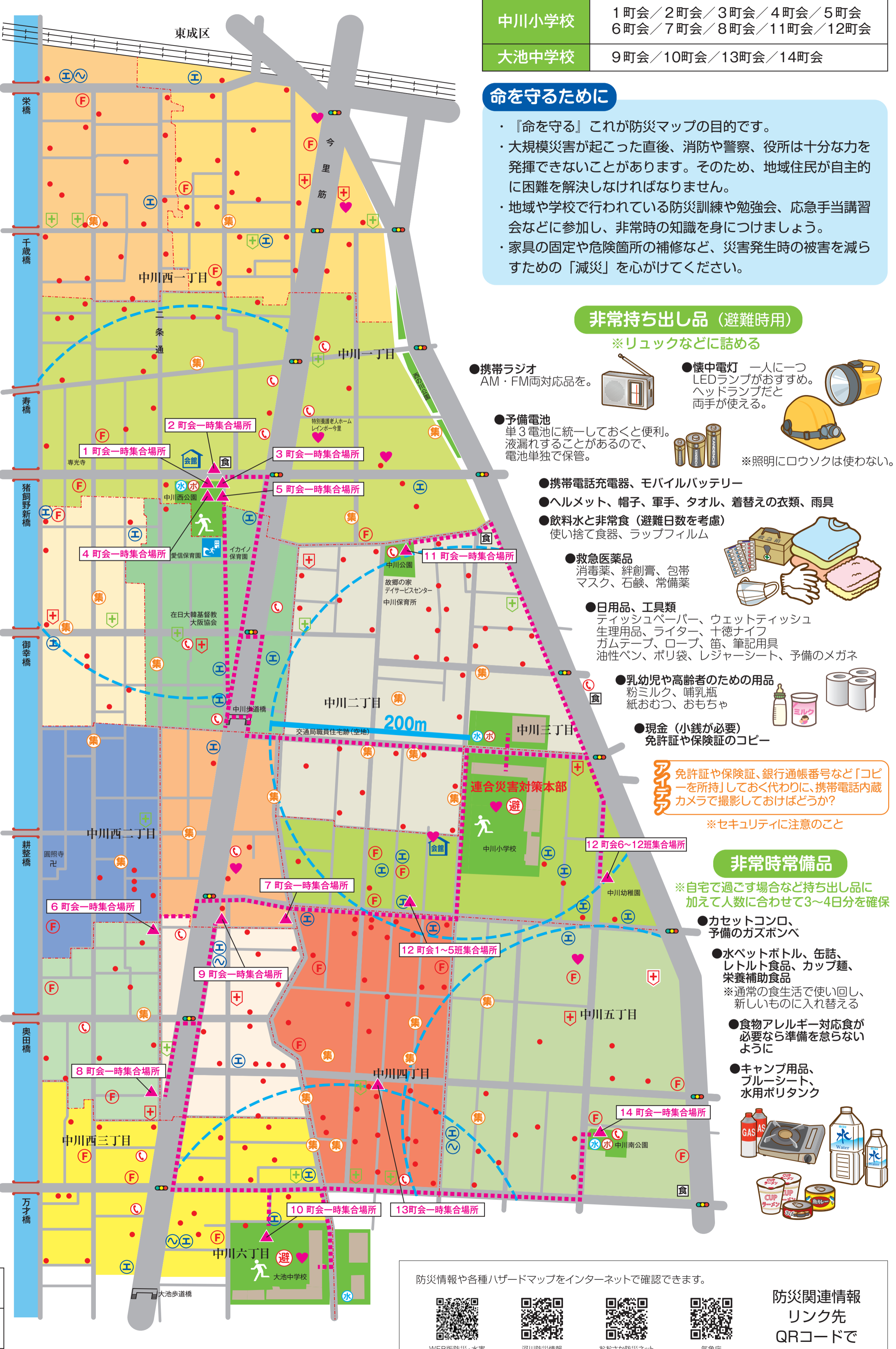
NTT西日本(一般電話: 音声)「171」をダイヤルしガイダンスにしたがって伝言を登録・再生できます。

このサービスは毎月1日、災害週間(8月30日～9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日～21日)、に体験利用できますので、安否情報を登録してみましよう。(通話料が必要です。)

防災メモ

町会・班	
町会一時避難先	

※各班の安否確認報告は各町会本部に連絡のこと。



中川小学校	1町会/2町会/3町会/4町会/5町会 6町会/7町会/8町会/11町会/12町会
大池中学校	9町会/10町会/13町会/14町会

命を守るために

- 「命を守る」これが防災マップの目的です。
- 大規模災害が起こった直後、消防や警察、役所は十分な力を発揮できないことがあります。そのため、地域住民が自主的に困難を解決しなければなりません。
- 地域や学校で行われている防災訓練や勉強会、応急手当講習会などに参加し、非常時の知識を身につけましょう。
- 家具の固定や危険箇所の補修など、災害発生時の被害を減らすための「減災」を心がけてください。

非常持ち出し品(避難時用)

- リュックなどに詰める
 - 懐中電灯 一人に一つ LEDランプがおすすめ。ヘッドランプだと両手を使える。
 - 予備電池 単3電池に統一しておくこと便利。液漏れすることがあるので、電池単独で保管。
 - 携帯ラジオ AM・FM両対応品を。
 - 携帯電話充電器、モバイルバッテリー
 - ヘルメット、帽子、軍手、タオル、着替えの衣類、雨具
 - 飲料水と非常食(避難日数を考慮) 使い捨て食器、ラップフィルム
 - 救急医薬品 消毒薬、絆創膏、包帯、マスク、石鹸、常備薬
 - 日用品、工具類 ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、生理用品、ライター、十徳ナイフ、ガムテープ、ロープ、歯、筆記用具、油性ペン、ポリ袋、レジャーシート、予備のメガネ
 - 幼児や高齢者のための用品 粉ミルク、哺乳瓶、紙おむつ、おもちゃ
 - 現金(小銭が必要) 免許証や保険証のコピー
- ※セキュリティに注意のこと

非常時常備品

- カセットコンロ、予備のガスボンベ
- 水ペットボトル、缶詰、レトルト食品、カップ麺、栄養補助食品
 - ※通常の食生活で使い回し、新しいものに入れ替える
- 食物アレルギー対応食が必要なら準備を怠らないように
- キャンプ用品、フルシート、水用ポリタンク

防災情報や各種ハザードマップをインターネットで確認できます。

WEB版防災・水害ハザードマップ

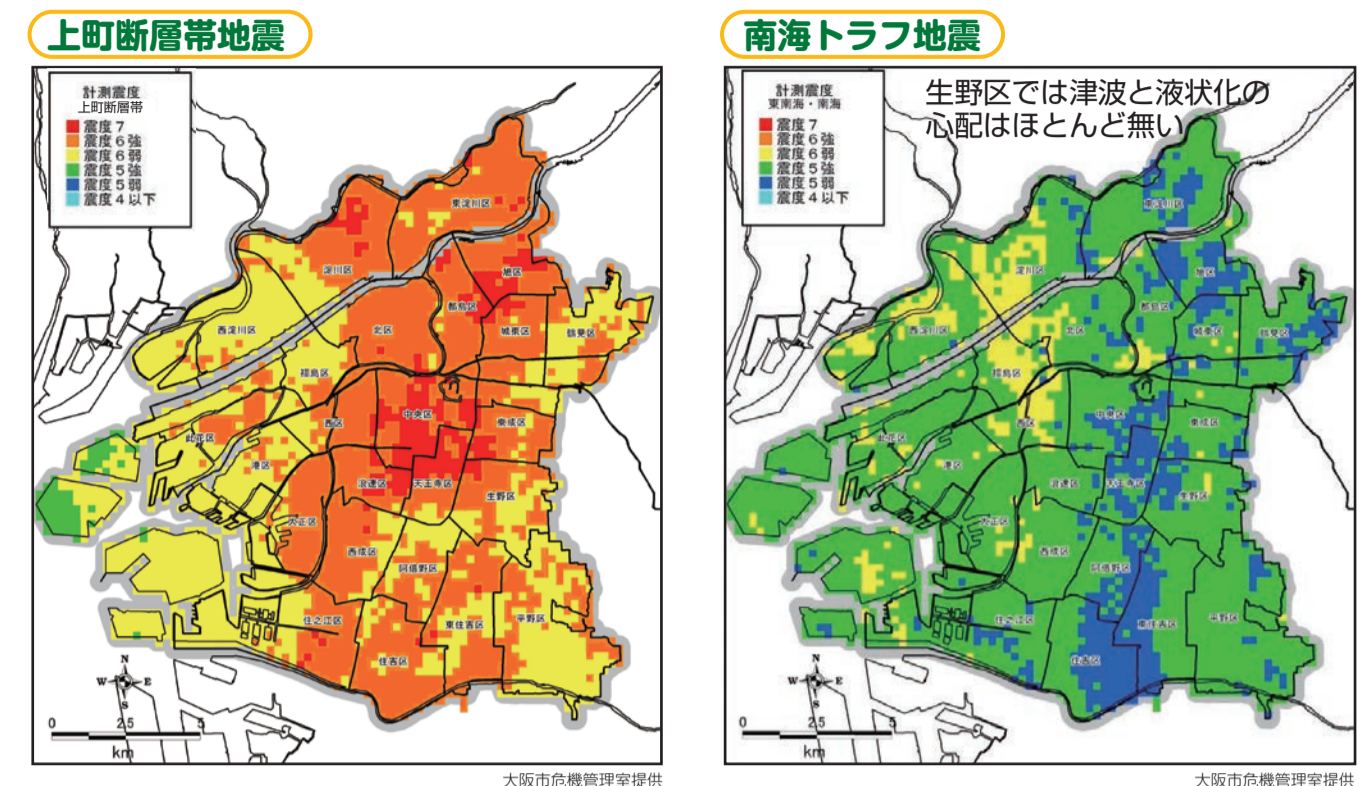
河川防災情報

おおさか防災ネット

気象庁

防災関連情報リンク先 QRコードで

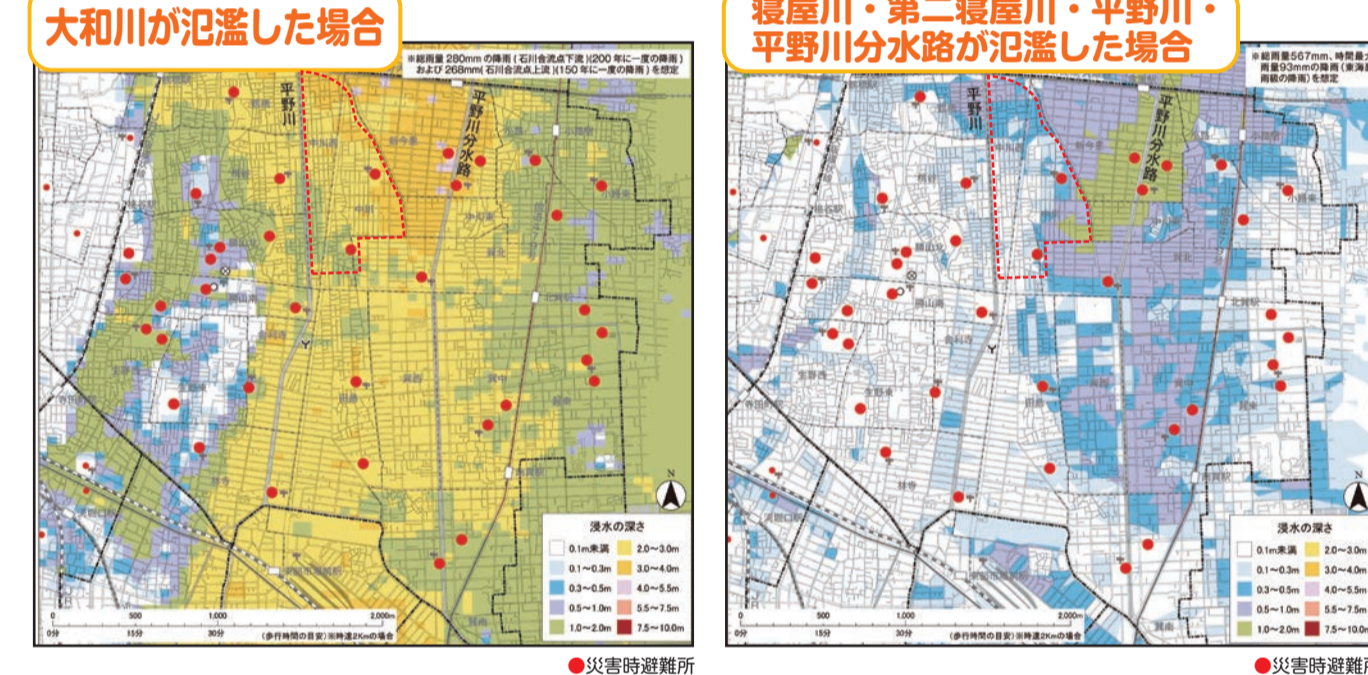
地震に対する備え



- ### 地震発生直後(自宅での被災)
- 自分自身の安全確保。
 - 家族の安全確認。
 - ※電話など通信が絶たれた場合の連絡方法を家族間で決めておく。
 - 火元のチェック、火災の予防。
 - ※出火して手が付けられないと判断したら迷わず避難。
 - 避難経路の確保。(出入口を開けて閉じ込められないよう)
 - 近隣の安否確認。子供、高齢者、病人、妊婦の援護。
 - 火災発生、大けが、下敷き、閉じ込めなどの通知と救助要請。
 - 近隣で行われている人命救助、消火活動、避難支援活動の応援。

- ### 地震での避難
- ※地震の場合、あわてて避難を始めても、避難所はすぐに準備できない。
 - 町会で決めた一時集合場所への集合。
 - 防災情報の確認。(停電でも使えるラジオやネット)
 - 服装(防寒防暑、頭部保護、靴)の確認。
 - ※スカート、ハイヒールは×
 - 非常持ち出し品のチェック。
 - 近隣へ無事であることを伝える。
 - ※黄色ハンカチの活用。
 - 家を離れる前に近隣の安否確認をもう一度。
 - 火災予防のために電気ブレーカーとガス元栓を遮断。
 - 一人では行動せず、近隣で声を掛け合い集団で避難を。
 - 家屋や壁、電柱の倒壊など、危険箇所の確認と通知。
 - まとまった人数で災害時避難所(学校)へ移動。
 - ※何も持たずに避難所へ来てても、避難所では飲料や食料などすぐには用意できないので各自で対応。

風水害に対する備え

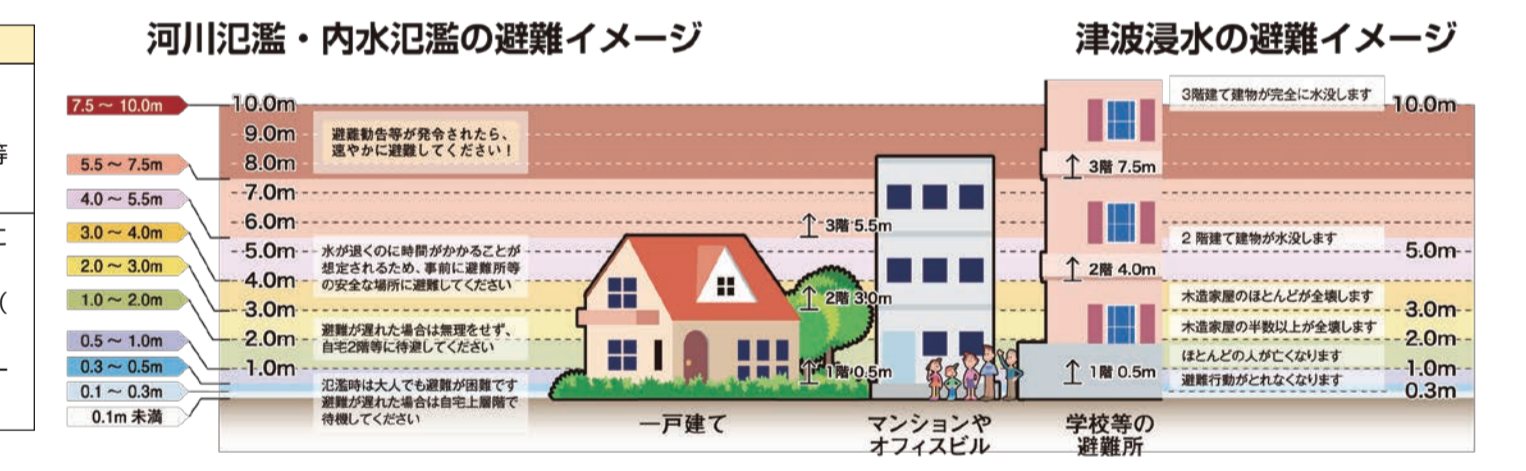


発令内容	発令のめやす	お願いしたい行動
避難準備・高齢者等避難開始	人的被害の発生する可能性が高まった状況	避難行動に時間がかかる方は、浸水のおそれのない階もしくはもよりの避難所へ避難を開始してください。それ以外の方は、家族等との連絡、非常持出品の準備等、避難準備を開始してください
避難警告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	マンション等にお住まいの方は浸水のおそれのない階に避難してください。一戸建て等にお住まいの方は、もよりの避難所や津波(水害時)避難ビルへ避難してください。避難所へ行くのが困難な場合は近くの3階以上の建物に一時避難してください
避難指示(緊急)	人的被害の発生する危険性が非常に高い状況 人的被害の発生した状況	

※浸水のおそれのない階は、あらかじめ水害ハザードマップの想定でご確認ください。(ただし、浸水の深さはシミュレーションに基づいており、実際の状況とは異なる場合があります。)

風水害の場合 避難準備→避難

- 台風や集中豪雨などで、重大な災害の発生が予想される時は気象庁から大雨警報や暴風警報を出す。
- さらにひどい場合は特別警報が発せられる。
- テレビやラジオ、ネット、防災スピーカー、広報車などの情報に注目。
- ※自ら情報を得るよう心がける
- 避難が遅れると生命に危険が及ぶ場合は、次のような指示や勧告が発令される。
- この時には、すでに避難所が開設されている。
- 避難行動要支援者の避難は避難準備の段階で。
- 高齢者や病人、子供の避難は近隣の協力を。
- 雨や風が強くなった時は外に出ない。
- 浸水が始まっている中での避難は非常に危険。
- ※マンホールや側溝へ転落するおそれ
- 避難すべきか家屋内にとどまるべきか、状況を判断して行動。
- 避難所へ行くのが不可能なら、自宅の高所階や近隣のビル(災害時避難ビル)などへの避難を考える。



避難する時の備え

- ### 安否確認について
- 町会単位で安否確認を行い、小学校に設置する地域対策本部に状況を連絡する。
 - ※町会配布の無線機を活用
 - 安否が確認できた世帯は、それがわかるようなマーク(黄色ハンカチ)を玄関に付けておく。
 - 住民との連絡がとれないなど行方不明状態のときは、町会本部への連絡依頼を記したメモを玄関に貼り付けるなどして、無事なのを確認できるまで安否確認を続ける。
 - 黄色ハンカチが無いときは、普通のハンカチや布きれ、テープなどを使って無事を知らせる。
- ### 救援について
- 要救助者を見つけたとき、家屋が倒壊している、火が出ているなど、あきらかに重大な状況になっているときは、直ちに救援を要請し、地域の全力をつくして救出、消火作業を実施する。
 - 合わせて、救出、消火、資機材運搬、交通整理の手伝いなどを近隣の住民に要請する。火災だと近隣への避難開始指示も必要。
 - その際、救助者がケガしないよう、十分に注意のこと。退路を確認して行動せよ。
 - 危険だと感じたときは、直ちに退く。
 - まず守るのは自分自身の命である。
 - 発災の時刻によっては、仕事で地域を離れているなど、あらかじめ決めたメンバーが動けないかもしれない。
 - このような場合は、地域にいる人々で臨機応変に対応しなければならない。
- ### 避難誘導について
- あわてて避難を始めても、避難所の用意はすぐにはできない。
 - 避難所の受け入れ準備ができたことの確認がとれるまでは、自宅あるいは一時集合場所待機する。
 - 同じ集合場所を使う町会は、一時的なリーダーを決めて、統一した指示に従って行動する。
 - 中川小学校あるいは大池中学校へ避難するのに、今里筋を横断しなければならない町会がある。
 - 停電すると信号機が消えてしまい、横断に危険が生じる。
 - 自力歩行できるなら、中川歩道橋あるいは大池歩道橋を利用するほうが安全かもしれない。
 - 台風や大雨などの場合、屋外での行動が危険なことがある。避難すべきか家屋内にとどまるべきか、状況で判断せよ。
 - 避難する前に、まずは近隣の安否確認を優先。
 - 誰もが先に避難してしまうと、要救助者が見つからずおそれる人がいなくなってしまう。
 - 火災が起こったときは、消火活動とともに積

災害時避難所(学校)への避難

- 避難所責任者の指示に従って行動。
- 避難所が開設されていない場合は運動場や廊下に一時的に待避。
- 授業時間中なら、子供達が学校内にいることを考慮。
- 発災直後の避難所には飲料や食料などの生活物資は用意されていないので、避難グッズとして各自が準備。
- 避難者の移送については別途考慮
- 体育館や教室への避難では土足厳禁を徹底。
- トイレは清潔に。(上下水道の状況で対応)
 - ※一度汚れると復旧がたいへん
- ペットはケージに入れて。